

平成21年4月30日

市場系統合システムの導入について

足利銀行（頭取 藤沢 智）は、今般、中期経営計画「新あしぎん創造プロジェクト」における「営業基盤の強化」「業務効率化」「リスクコントロールの強化」のための具体的施策の一環として、市場系統合システム₁を導入することといたしましたので、お知らせいたします。

₁ホストシステムを補完し、複数の種類の市場取引において約定・決済・評価等を行うシステム

記

1. 導入するシステム

（1）システム名および機能

名称：Prélude Enterprise（プレリュード・エンタープライズ）

機能：デリバティブ、資金為替、市場リスクの統合管理₂

₂有価証券・資金為替・デリバティブ等の市場リスクを網羅的に管理する機能

（2）システム提供元

株式会社ティージーアイ・フィナンシャル・ソリューションズ

（本社：東京都品川区、代表取締役社長 竹腰秀則）

2. 導入のねらい

（1）お客さまへのサービス向上

拡張性、柔軟性の高いシステムの採用により、デリバティブ取引等において、よりお客さまニーズに沿った商品・サービスを提供してまいります。

（2）業務効率化

従来、有価証券、資金為替、デリバティブ等市場系の業務別にシステムを導入していましたが、本件統合システムの導入により、運営コストの低減と業務の一元管理による効率化をはかってまいります。

（3）リスク管理の強化

リスク計測の対象範囲や精度を高めることで、市場リスクの管理を強化してまいります。

3. 利用開始時期

デリバティブ機能は平成21年度から本格運用を開始。資金為替機能は平成21年上期中、市場リスクの統合管理機能は平成22年上期中の稼働を目指しています。

以 上